

簡単・便利・おいしい！

道の駅で非常食（簡便食）の取扱い開始

わだい

簡単、便利でおいしい非常食（簡便食）の取扱い開始発表会が4月16日に道の駅阿蘇で開かれました。

これまで経験した多くの災害から常設的に非常食を確保する取り組みで、平時には道の駅で販売し、災害時に車中泊などの避難者に提供することを想定しており、県内の6つの道の駅で同時に取扱いを開始。市内では道の駅阿蘇と道の駅波野神楽苑の2カ所で販売を始めました。

会場からは、「熊本地震の経験から、物資が届くまで1日はかかるため、少なくとも1人2食分を家に常備することが必要」などの意見がありました。



非常食取扱い開始発表と参加者による試食の様子



丸太を半分に切る様子

完成して仮設団地に設置されたベンチ

チェーンソーでベンチ制作

木製ベンチを仮設住宅に寄贈

九州のチェーンソーカーバー（木を削る人）が4月29日、四季彩いちのみや横の広場に集まり、木製のベンチを制作しました。

これは、日本チェーンソーアート協会が材料を支援し、九州のチェーンソーカーバーの有志12名が参加したもので、両脇の置物をチェーンソーアートによってフクロウや熊などに装飾したベンチ4脚を制作しました。

できあがったベンチは、内牧団地、三久保団地、黒川団地、再建支援住宅（東池尻）の4つの仮設団地に寄贈されました。参加者は、「仮設住宅の人に喜んでいただきたい。」と願いを述べました。

税の収納率アップへ

熊本県税務職員併任徴収辞令交付

熊本県と阿蘇市は、市へ税務職員を派遣し、共同で県・市税を徴収する協定を締結しています。これに伴う併任徴収員の辞令交付式が4月26日に市役所で行われ、佐藤市長から熊本県県北広域本部収税課の税務職員6名へ辞令が手渡されました。

この派遣は今年度で8年目を迎え、市税滞納処分による差し押さえ動産及び不動産の公売会の開催や臨戸訪問などを共同で実施し、県・市税の収納率向上に努めています。

佐藤市長は、「税の収納率アップは必要不可欠。県職員の経験を活かしてほしい」と期待を述べました。

News



併任徴収の辞令を受けた6名の熊本県職員

公正な選挙執行に努めます

新しい選挙管理委員を選任

3月の阿蘇市議会で、4名の選挙管理委員が選任されました。また、4月7日に選挙管理委員会が開かれ、委員長及び委員長職務代理者が選任されました。選挙が公正かつ適正に行われるよう委員一同職務を執行します。

委員長	佐藤 照司	再任
委員長職務代理者	家興 利昭	再任
委員	倉本 健吉	新任
委員	古閑 慶助	新任

News



左から家興氏、倉本氏、古閑氏、佐藤氏

歴史文化を継承したい

二宮金次郎像を住民らで修復

熊本地震で倒壊した旧坂梨小学校の二宮金次郎像を、地域の美化活動に取り組む住民組織『坂梨緑の基金(中川竹久代表)』が修復しました。

この像は建立時は銅製でしたが、戦時中金属回収により戦地に送られ、終戦後、コンクリート製で復元されたもので、坂梨校区を長年見守ってきました。

中川代表は、「金次郎像は先の大戦の生き証人。社会・道徳教育の教材や坂梨校区の歴史と文化として今後も継承したい。」と修復した想いを話しました。

わだい



修復された三宮金次郎像
損傷が激しかった腰から下は再生を断念し台座とした

迅速・的確な対応で人命救う

消防救助協力者に感謝状贈呈

人命救助に寄与した一の宮郵便局員の甲斐大樹氏(三野)に4月25日、阿蘇広域行政事務組合消防本部にて西岡博之消防長から感謝状が贈呈されました。

甲斐氏は今年1月14日に配達先で人が倒れているのを発見。呼びかけて反応がないことを確認し救急車を要請しました。救急車が到着するまでの間、体の冷え切った傷病者を自宅まで運び毛布を掛け保温を行ったことで、傷病者は大事には至りませんでした。

甲斐氏による傷病者の早期発見と迅速で的確な行動により人命が救われたことから、今回の表彰となりました。

わだい



表彰を受けた甲斐氏(右)

阿蘇の草原を元気に駆ける

第1回阿蘇ラウンドトレイル開催

5月13日から14日にかけて阿蘇の山々を舞台に108.7キロを走破する『第1回阿蘇ラウンドトレイル』が開かれました。

この大会は、阿蘇ラウンドトレイル実行委員会（高木智史会長）が企画し、170名のボランティアの協力のもと初めて開かれたもので、全国から281名のランナーが参加。阿蘇西小学校（阿蘇西校舎）をスタートし、ゴールの西原村にある俵山交流館の里を目指し、未舗装の道が中心となる外輪山を周回するコースを駆け抜けました。

大会は地元阿蘇市出身の森本幸司選手が15時間11分24秒のタイムで見事優勝を飾りました。

わだい



元気よくスタートを切る選手たち



子どもたちと一緒に笑顔で歌う大友さん

子どもたちに歌と笑顔を！

大友剛さんによるスペシャルライブ

全国各地で子どもたちを元気にする活動を行っているミュージシャンでマジシャンの大友剛さんのコンサートが5月17日、阿蘇小学校で開催されました。

大友さんは、東日本大震災以降、被災地の子どもたちの心のケアのため、全国でチャリティライブを行いながら、寄付を募り、東北の保育園や幼稚園を訪れ、これまで200回以上のコンサートを開いています。

「復興が終わるまでこの活動を続け、全国へ被災地の現状を伝える架け橋になりたい」と話す大友さんのライブは、歌とマジックと絵本を用いて子どもたちを終始笑顔に導いていました。

花いっぱい運動支援事業

地域の団体が、ボランティア活動により公園などで花いっぱい運動（花を通じて人々の気持ちを豊かに、また景観をよくすることを目的として行われる運動）をおこなう場合に、その運動に使用する花の種子や球根、苗を年に2回交付し、その運動の支援を行います。

《募集期間》

秋まき・秋植え 6月1日（木）～7月14日（金）
春まき 春植え 11月27日（月）～1月15日（月）

《支援対象》

道路、公園、公民館、学校などの公共用地の植栽管理をおこなう地域団体。

《交付するもの》 (1) 花の種子 (2) 花の球根 (3) 花の苗

※花の種類は指定する種の中から選択できます。

～各種条件・申請方法など～

詳しくは、くまもと緑・都市景観協働機構のホームページ

(<http://kumamoto-midori.com/index.html>) をご覧ください。

～お問い合わせ先～

くまもと緑・都市景観協働機構 ☎096-333-2522
阿蘇市役所住環境課 都市・環境係 ☎22-3169



わだい



グルメポイントで料理を楽しむ参加者

阿蘇をまるごと体験

内牧温泉で ONSEN・ガストロノミーウォーキング

ウォーキングを通じて、その地域の魅力ある食や温泉、自然、歴史などを体験する『ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 阿蘇内牧温泉』が、5月20日、内牧地域一帯で開かれました。ANA(全日空)の特別協賛で国内で初めて実施となった本イベントは、県内外から360名が参加。晴天の中、内牧温泉街を出発し市道鍋釣線を経由する全長8キロのコースを、阿蘇の山々や田園風景を楽しみながら歩きました。

参加者は、途中のグルメポイントで振る舞われる阿蘇の食材を使った料理やお酒に舌鼓を打ち、歩いた後は温泉に入って阿蘇の魅力を楽しみました。

八代市との交流会



一の宮保健センターで3月9日、八代市食生活改善推進員40名の会員の方々と阿蘇市食改との交流研修会が行われました。

昨年の地震時の食改員の対応状況、災害時の役割など各班に分かれて意見を交換しました。

八代市も日奈久断層の位置にあり、いつでも起きてもおかしくないと言われている。私たち食改員は、本震後の4月18日から市の要請で自衛隊とともに避難場所である農村環境改善センターで、被災された方々への食事のお世話を早期に行い、衛生面では食中毒やノロウイルスも出さず無事終わったこと、食改の会員が被災にあった話や、近所の方との団結で2週間のりきった話など実体験を交えて報告しました。

その中で八代市食改員から教えていただいたペットボトルで作った防災グッズ(ランタン)を紹介します。

【用意するもの】

中身の入っているボトル1本、
空のボトル1本、懐中電灯1個
(ペットボトルの口に入る大きさ)、ひも1メートルくらい



ペットボトルのランタン

【作り方】

①空のボトルを半分に切る。中身の入っているボトルに切ったボトルの頭と尻を逆さまに差し込んで、頭の方に懐中電灯を差し込む。

②両端をひもで結んで肩からかけられるようにする。停電した時には役立つ1つだと思います。

作ってみてはいかがでしょうか。(阿蘇支部)

借金、離婚、相続、遺言、交通事故、刑事・・・など、ひとりで悩まずお気軽にご相談下さい。

受付時間：平日9時～17時15分 TEL：0967-22-5223 ※完全予約制です。

法律相談料が変わりました。

- ・初回相談が、30分まで無料になりました！
- ・初回30分超また2回目以降は30分3500円です。

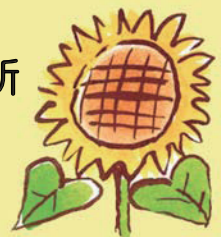
※経済的に余裕がない方は、法テラスの無料法律相談制度をご利用になれることがあります。お問合せ下さい。

阿蘇ひまわり基金法律事務所

阿蘇地域に根ざした法律事務所です。

熊本県弁護士会所属

弁護士 森 あい(もり あい)



〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2005-8-203 (阿蘇市商工会一の宮支所となり)

広告